

(公社)日本技術士会四国本部高知県支部 設立 5 周年祝賀会

第 96 回 CPD セミナー・記念講演(公開講座)

四国本部 幹事
高知県支部 事務局長
松本 洋一
MATSUMOTO Yoichi



1. セミナーの概要

2024年6月21日(金)に、「高知会館」において、第96回CPDセミナー、令和5年度技術士第二次試験合格者祝賀会を開催いたしました。併せて高知県支部設立5周年記念講演(公開講座)として、講師にエッセイスト・コメンテーターとして広く知られている安藤和津さんをお迎えして、盛大に開催することができました。会員やご家族のほか、技術士を目指す若手技術者や一般聴講者など119名の参加をいただきました。

表1 プログラム

第一部 令和6年度 高知県支部年次大会

第二部 高知県支部設立5周年記念講演

1. 開会 (13:00~13:40)

(1) 開会挨拶

(公社)日本技術士会四国本部本部長 天羽誠二

(公社)日本技術士会四国本部高知県支部長 河野一郎

(2) 令和5年度 技術士第二次試験合格者 紹介

2. CPD セミナー (13:50~14:50)

演題:「日本技術士会四国本部青年技術士交流委員会10年の歩み」

講師:黒川 修吾氏(青年技術士交流委員会委員)

3. 記念講演(公開講座) (15:00~16:30)

演題:「明日を素敵に生きるには」

講師:安藤 和津氏

4. 第二次試験合格者祝賀会(17:30~19:30)

(1)開会挨拶・乾杯 高知県支部長 河野 一郎

(2)中締め 四国本部幹事 中根 久幸



天羽本部長の開会挨拶



河野支部長から挨拶と高知県支部設立5周年の歩みを紹介



第二次試験合格者(6名)の紹介

2. CPD セミナー

(公社)日本技術士会四国本部 青年技術士交流委員会委員の黒川修吾氏に、「日本技術士会四国本部青年技術士交流委員会 10年の歩み」と題して講演していただきました。

青年技術士交流委員会は、委員会の名称の通り「青年技術士」で構成するため、45歳以下の日本技術士会員のみで活動する組織となります。(ただし、委員になった後は、気持ちさえ45歳以下であれば活動しています。)講師の黒川委員は令和2年から委員会に参画されています。

講演では、これまでの10年間で委員の活動や、高齢化による危機と脱出の繰り返しなど、青年委員会ならではのおもしろさや課題を時系列で説明して頂きました。委員の若返りを図りつつ、四国4県がそれぞれの特色を活かしたセミナーや交流会を企画されています。

最近の主な活動として、青年技術士交流委員会の活動方針の1つである『地域との交流を通じ社会貢献を図る』をテーマとした、大川村の地域活性化に関する取り組みが発表されました。この取り組みは委員のみならず、委員の家族や大川村の地域の方々との交流も行っており、他にはないイベントで、今後の活動や成果報告が楽しみです。

また、青年委員会の活動は四国のみにとどまらず、全国大会などの主要イベントでも、バンド演奏やよさこい鳴子踊りを披露してその存在感を発揮しているとの報告があり、今後の日本技術士会四国本部を担っていこう頼もしい青年技術士たちの成長を感じ取ることができました。



黒川講師による CPD セミナー

3. 記念講演(公開講座)

安藤和津さんは、NHK や CNN のキャスターを務めた後、TV・ラジオなど多数の番組に出演され、現在は、教育問題・自身の介護経験・「食」などをテーマにした講演会やトークショー、情報番組のコメンテーターなど多岐にわたり活躍されています。講演会の実現にあたって、当初は和津さんの長女で、高知にも縁が深い映画監督の安藤桃子さんに講演をお願いして準備を進めて参りました。

しかし、桃子さんが第26回上海国際映画祭に出席されることになり、講演はかなわなくなりました。そこで急遽、安藤ファミリーのご厚意により和津さんの講演が実現したものです。

司会と会場の「和津さ〜ん」の呼びかけで入場し和やかに講演が始まりました。

講演は、「明日を素敵に生きるには」と題して、約12年間にわたり認知症の母を介護したご自身の経験を通じて、何事も前向きにとらえて生きることの大切さについて語りかけるものでした。

講演の冒頭、高知との縁や印象について、話していただきました。

「高知に来て以来、誰がくれたのかわからない取れたての野菜や料理のお裾分けが玄関のドアノブに掛かっていたり、孫を送り出した直後に玄関のチャイムが鳴って山盛りのトマトをもらったり、高知には自分が幼少期のころに感じた懐かしい雰囲気がある。今こんな場所は他にはない。」

お孫さんや仲の良い友人もいて本当に高知を気に入っていただいている様子でした。



安藤和津さんによる記念講演



会場にマイクを向けて参加者とのやりとり



河野支部長との対談

お母様の認知症については、突然様々な異変が起き始めた。しかし当時は何が起きているのか全く理解できなかったそうです。

「同じマンションの上下階に住んでおり、いつも身だしなみに気を付けていた母が顔も洗わず、スリッパ履きのままで部屋にやってきて、ぼーっとテレビを見て、一日中何かを食べ続けていた。

料理上手な母であったが、ある日作って持たせてくれたお弁当の味付けがおかしくて食べられなかった。和津さんが作ったお弁当がゴミ箱に捨てられた事件も起きた。なぜそんなことをするのか、嫌がらせのつもりなのか、訳がわからずただ怒りがこみ上げた。

異変には、子ども達も気づいていたが、一生懸命作ってくれているのに悪いから、と言い出せずにいた。あるとき、遊びに来た娘の友達に対して母が暴言を吐いた。

徐々に抑制がきかなくなって症状が進んでいった。」

認知症の初期症状として「昨日の夕食の献立が思い出せない」「誰の結婚式に行ったのか覚えていない」は大丈夫、「夕食を食べたことを忘れた」「結婚式に出たことを忘れた」のは要注意、と症状への気づきが重要と語りかけました。

苦勞が多い介護生活のなかで救いもあったと、あるエピソードについて語ってくれました。

「あるとき、トイレで動けなくなった母を夫の奥田さんが抱き上げて体を洗ってくれた。奥田さんは、母に「僕だったらいいよね」と声を掛けた。血が繋がっていなくても永く一緒に暮らしていると、親子の愛情で繋がることができるんだ。当時は浮気男で大変なこともあったけれど、この人とは離婚しないと決めた。」

本人と家族のためには、コミュニケーションが大切であることも教えていただきました。

「誤嚥性肺炎にかかった母は、弱ってしまって喋ることも体を動かすこともできなくなっていて、医者には回復は望めないと言われていた。しかしあるとき、瞬きの緩急で意思疎通ができることに気がついて、コミュニケーションが向上し病状も回復した。孫の振り袖の色をどうするか尋ねると返事があって希望の振り袖を準備することができた。母は、イギリス留学中の孫が帰国するのを待って旅立った。」

ご自身の介護経験をふまえて、明日を素敵に生きるための秘訣について、河野支部長との対談も交えてアドバイスをいただきました。

「これからの社会において、介護が必要になった時、誰かが面倒を見てくれるとは限らない。そのために、健康寿命を延ばすこと、自立することが大事。

食べるという字は人に良いと書く。食事内容や時間はとても大事。

家事能力は生活力であり人間力、身につけて自立すること。男性の家庭内自立をお勧めする。

健康寿命を延ばすために、足が弱って歩けなくなると、外にも出られず社会とのつながりが薄く

なる。自分の足で歩けることは大事。毎日目標を決めて歩いている。

自分の短所を気にしたり、他人の長所をうらやんだりする人が多い。

前向きに素敵に生きるための秘訣は、自分の良いところを輝かせて生きること。」

和津さん自身、母の介護を通じて後悔していることがひとつだけある、と語りかけられました。

「母の体に悪いといわれれば、食べたいものも食べさせず、やりたいことをさせてあげなかった。そのことを本当に後悔している。

娘達には、私の介護が必要になったときには、たとえ体に良くないといわれても、やりたいといったことをさせてほしい と日頃から話している。

皆さんも人生の後始末は自分で考えてほしい。どう介護され、みとられたいか。元気なうちに家族と話し合っしてほしい。」

最後に、技術者が多い会場の参加者に対しては、「男性（奥田さん）は神経が1本調子で、食器の洗い物を自ら買って出た時には、古いフライパンをピカピカに磨いて、あとの食器はそのままで止めてしまったことがある。一方、女性（私）は、枝葉のような神経があり、会場の女性の方々もその考え方で、きっと素晴らしい技術を発揮していくと思っている。」と語りかけました。

そして、技術士会に対しては、「生活に身近な社会インフラ整備に関わる技術者の団体として、その存在意義をもっと世の中にアピールできるのではないか、そうすべき」との力強いアドバイスをいただきました。

夫で俳優の奥田瑛二さんの型破りな夜遊びエピソードも交えて笑いを誘いつつ、ときには会場にマイクを向けて参加者との軽妙なやりとりもあり、あっという間の90分間でした。

高知県支部にとっても、今後10周年に向けたスタートとして、素敵な記念すべき日になりました。

和津さんと安藤ファミリーに重ねて御礼申し上げ

げます。ありがとうございました。

4. 高知県支部設立5周年・令和5年度技術士第二次試験合格者祝賀会

祝賀会に先立って、和津さんと祝賀会参加者の記念撮影を行いました。和津さんは地方への移動があり、名残惜しく退席されました。

河野副本部長の開会あいさつと乾杯の音頭で祝賀会が開宴しました。祝賀会も59名と多数の参加をいただき、合格者を囲んで盛会となりました。

安藤和津さんの講演をコーディネートした中根幹事の中締めにより祝賀会も無事終了することができました。皆様に感謝申し上げます。



安藤和津さんを囲んで記念撮影



皿鉢を囲んで賑やかな祝賀会



四国本部 中根幹事による中締め